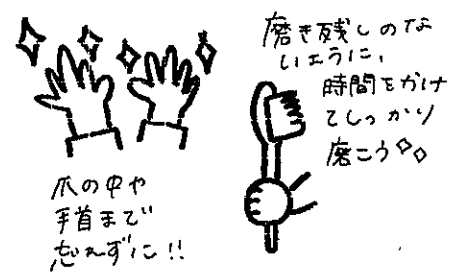




ほげんだより 11月

和歌山市立日進中学校 保健室

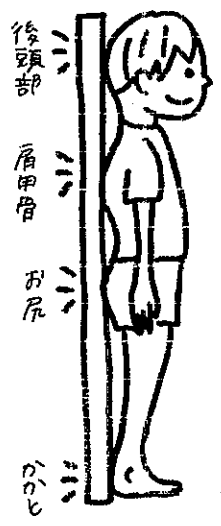
11月7日は「立冬」。木枯らしが吹いて木々の葉も落とし、冬の足音が聞こえ始めました。そろそろ冬支度も始める時期ですね。寒くなってくると特に水を使う手洗いや歯磨きがきつたのでは、早く終わらせようという気持ちで加減に力が入りすぎてしまいがちですが、そういうときこそ意識して正しい姿勢で冬服や暖房器具を準備するだけで、健康への意識も冬用に切り替えていきたいと思います。



11月1日はいい姿勢の日

後頭部 肩甲骨 お尻 かかと を壁につけて立ってみよう!!

腰と壁の間に手のひらがギリギリ入る隙間が「できるくらい」良い姿勢の目安。隙間に手がすっぽり入ると、かかとと足指と頭がらお尻も壁についたら、姿勢が整っている状態。良い姿勢を意識しよう。



姿勢が悪いとどうなる? -

肩こりや腰痛などの体の不調が起るようになります。



一部の筋肉や関節に力が入りやすくなり、肩こりや腰痛などの体の不調が起るようになります。

疲れやすくなる

背中が丸くなるとうねが「開かず」呼吸が浅くなり、酸素が体にいき渡りにくくなります。酸素が減ると血流が悪くなり、疲労物質がたまりやすくなります。



太りやすくなる

内臓などの位置がずれて負担がかかり、正常に働かなくなることもあります。内臓の不機能から低下すると、消化吸収がうまくできなくなり太りやすくなります。



集中力が落ちる
血流が悪いと脳に酸素が行き渡らず、脳の活動力が低下します。また、疲れやすくなるので集中力が低下してしまいます。

換気もしないとどうなる?

11月9日はいい空気の日

テストや受験シーズンが近づくと、大切な時期に正しい空気環境を整えることが重要です。もし換気もしないと汚れた空気が教室に溜まって悪影響があります。

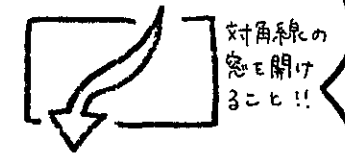


▶ 集中力が低下する

空気中の二酸化炭素の量が増え、脳が酸素不足になり、集中しにくくなります。

▶ 感染症が広がる

空気中にもウイルスが漂い、感染症にかりやすくなります。



だんだん寒くなってきて窓を開けると辛い。でも、休みの時間には必ず窓を開けるなど、定期的に教室の空気を入れ替えましょう。

もしかして風邪?

いくなる前に 予防 しよう

いさぎ始めのサイン

- ☐ くしゃみ
- ☐ 悪寒
- ☐ 鼻水
- ☐ 頭痛

いくつか当てはまったら風邪のいさぎ始めかもしれません。そんなときは悪化を防ぐために次の5つの対策をしましょう!!

たっぷり寝る



いつもより長く十分に寝ましょう。ぐっすり眠るためには、リラックスできる環境を整えるのも効果的です。

体を温める



体温が上がると、免疫力が高まり、ウイルスを倒しやすくなります。ポイントは、「首・手首・足首」を温めること! 3つの首を温めるとすぐに体がぽかぽかになります。

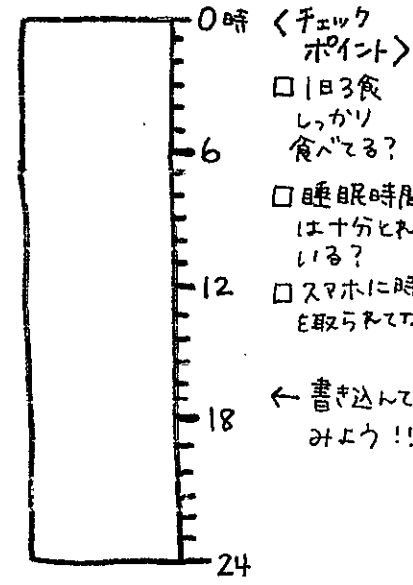
水分補給



熱が出ると体から水分が奪われるので、水分をしっかり摂って脱水を防ぎましょう。熱がなくても、ウイルスと闘う白血球は働いています。体の水分が減ると白血球の働きが悪くなるので、水分補給が必要です。

生活習慣の復習

あなたは昨日の過ごし方はどうだったかな?

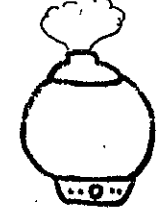


ごはんは消化に良いものを

おなかの消化に良いものを、食べられる範囲で摂りましょう。栄養バランスも大切ですが、食欲が落ちているときは無理に食べなくても良いです。

- 消化に良い食べ物
- 白米、食パン、うどん
 - じゃがいも、（とうもろこし）
 - かぼちゃ、さつまいも
 - 赤身魚、白身魚
 - バナナ、りんご
 - お茶など

乾燥対策も忘れず加湿する



ウイルスの多くは湿気が苦手なので、加湿が大切です。また、のどや鼻にあるウイルスを追い出す「絨毛」は、乾燥すると働きが悪くなってしまいます。濡れたタオルをかけるなど、室内の湿度を上げましょう。